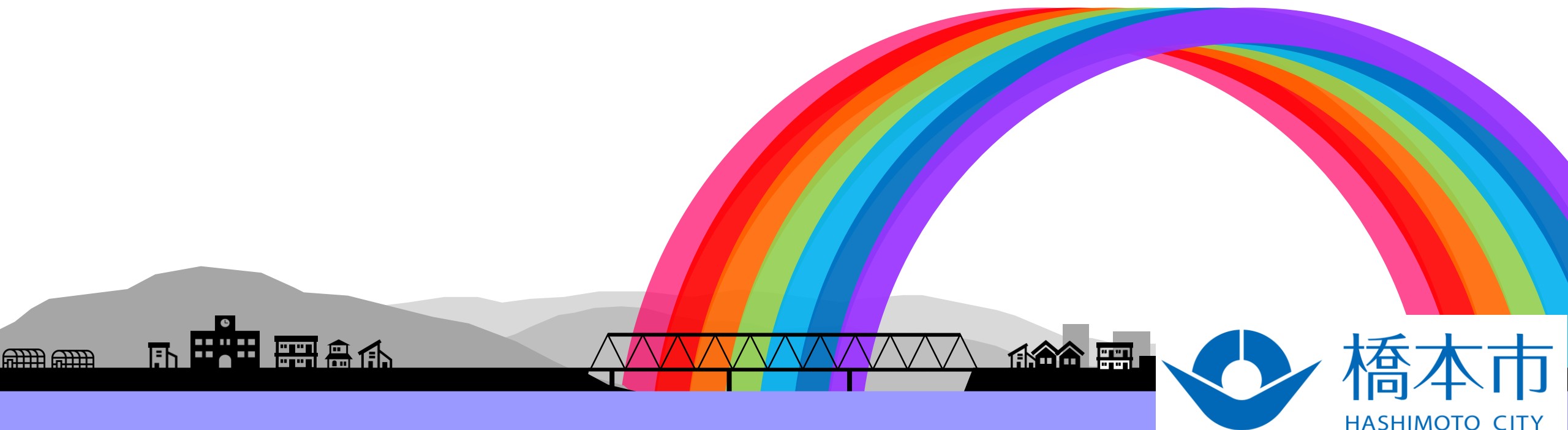


令和5年度当初予算について



橋本市
HASHIMOTO CITY

目次

- ・ 令和5年度予算の概要 1～3ページ
 - 1 予算編成のポイント 2 予算規模（全会計）
 - 一般会計歳入、歳出（性質別） 予算の内訳

- ・ 長期総合計画との関連 4～5ページ

- ・ 令和5年度当初予算の主な事業 6～13ページ
 - ともに創る 産業の振興と雇用を創出し定住できるまち**
 - 工業団地造成事業（特別会計）／橋本ふるさと便事業
 - 市政等情報発信ツール導入経費／結婚新生活支援事業補助金
 - ともに守る 安全・安心な暮らしを守り支えるまち**
 - 防災行政無線システム再整備事業／道路維持修繕事業
 - 障がい者自立支援給付／がん患者支援助成事業
 - ともに育てる 子どもから高齢者までともに育み学びあうまちづくり**
 - 子ども医療扶助費／セカンドブック事業／（仮称）紀見こども園整備事業
 - 電子黒板導入事業／公民館・郷土資料館新築事業／（仮称）岡潔数学体験館設置事業

令和5年度予算の概要①

1 予算編成のポイント

◆ポイント1 (一般会計の予算総額)

一般会計予算総額は、281億1,764万1千円となり、対前年度比9,652万6千円(+0.3%)の増。

ただし、令和5年度に予定していた事業(小中学校照明LED化事業など)で、国の追加補正により令和4年度において前倒し実施する予算である8億9,293万8千円を加えた場合の予算総額は、3.5%増となり、積極的予算といえる。

◆ポイント2 (第2次長期総合計画後期基本計画)

令和5年度から令和9年度までの第2次長期総合計画後期基本計画により重点プロジェクトを設定。令和5年度当初予算に盛り込んだ。(4ページ以降を参照)

◆ポイント3 (物価高騰の影響)

昨年からの物価高騰の影響について、令和4年度当初予算との比較で電気料が4,289万6千円の増、燃料費で1,158万3千円の増となっている。(他の経費の影響額については、明確ではないが、今後影響する可能性あり。)

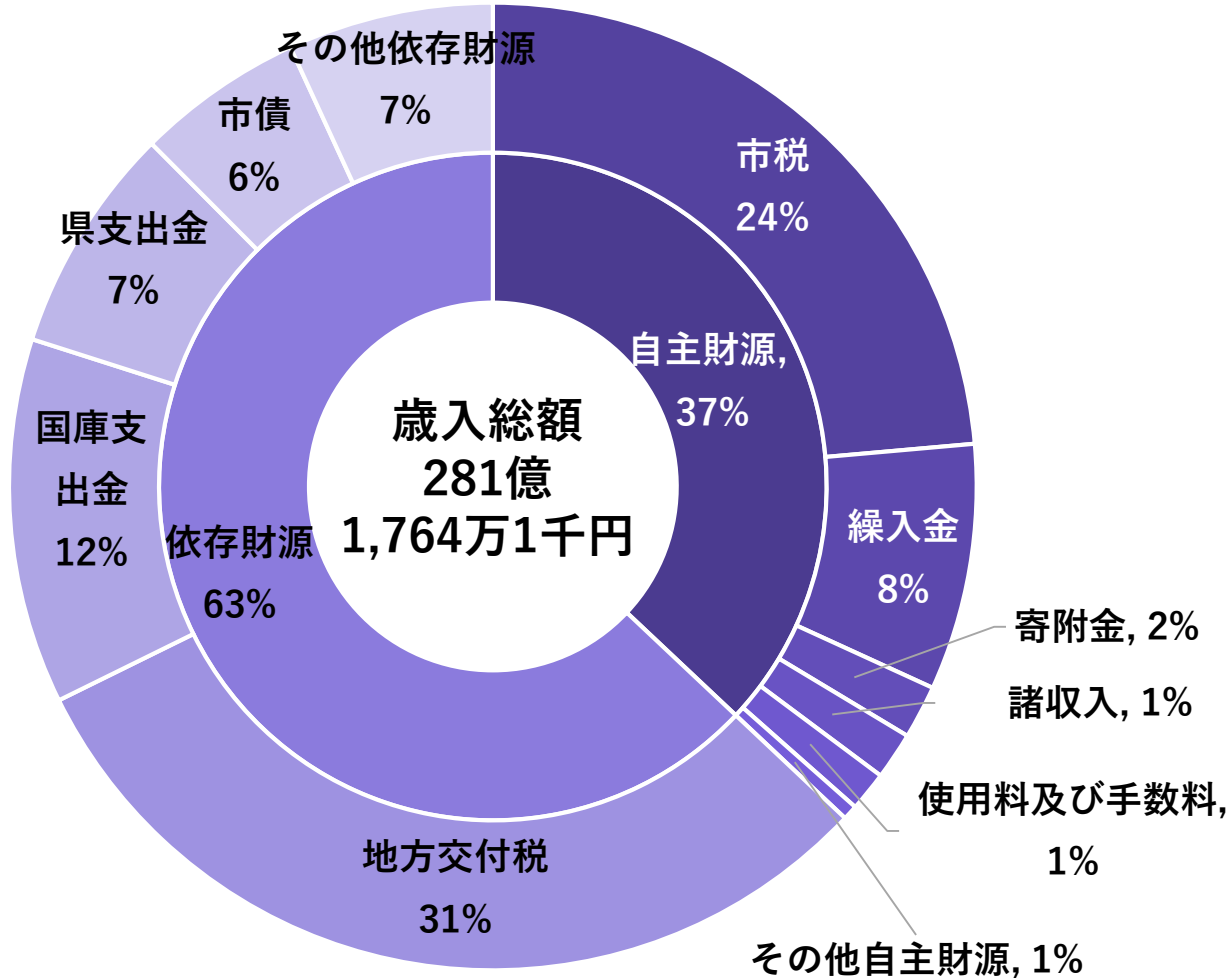
2 予算規模 (全会計)

※【 】書きは、国の補正予算により、令和4年度に前倒して予算化した事業費を令和5年度当初予算に加えた額

会 計	令和5年度	令和4年度	増減額/増減率
一 般 会 計	281億1,764万1千円 【290億1,057万9千円】	280億2,111万5千円	+9,652万6千円 【+9億8,946万4千円】
			+0.3% 【+3.5%】
特 別 会 計	176億 986万2千円	206億 162万7千円	△29億9,176万5千円 △14.5%
企 業 会 計	168億8,885万2千円	158億5,973万3千円	+10億2,911万9千円 +6.5%
合 計	626億1,635万5千円	644億8,247万5千円	△18億6,612万0千円 △2.9%

令和5年度予算の概要②

令和5年度一般会計歳入予算額の内訳

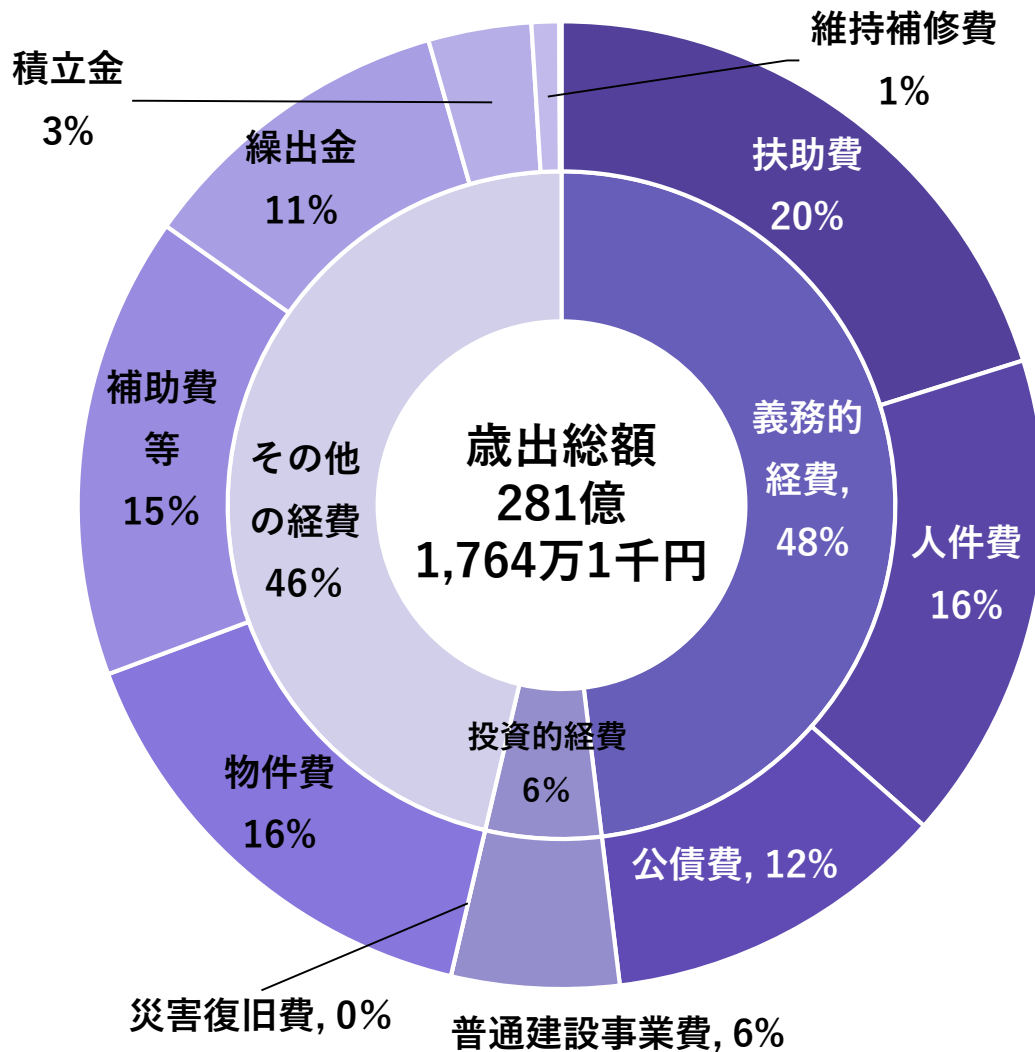


自主財源とは市が自主的に調達できる収入、依存財源とは国や県から交付されたり割り当てられたりする財源や市債のことです。自主財源の割合が大きいほど財政は安定していると言えます。

自主財源		小計	104億 973万9千円	37%
		市税	66億3,332万1千円	24%
		繰入金	23億1,728万9千円	8%
		寄附金	5億 270万2千円	2%
		諸収入	4億4,368万6千円	1%
		使用料及び手数料	3億7,355万3千円	1%
その他	分担金及び負担金		1億1,942万9千円	
	財産収入		1,975万8千円	1%
	繰越金		1千円	
依存財源		小計	177億 790万2千円	63%
		地方交付税	86億3,000万0千円	31%
		国庫支出金	34億3,322万5千円	12%
		県支出金	21億4,057万1千円	7%
		市債	15億7,140万0千円	6%
その他	地方消費税交付金		13億7,600万0千円	
	地方譲与税		2億4,512万2千円	
	地方特例交付金		4,300万0千円	
	法人事業税交付金		7,760万0千円	
	配当割交付金		6,400万0千円	
	株式等譲渡所得割交付金		7,100万0千円	
	自動車税環境性能割交付金		2,558万4千円	
	ゴルフ場利用税交付金		2,300万0千円	
	利子割交付金		440万0千円	
	交通安全対策特別交付金		300万0千円	

令和5年度予算の概要③

令和5年度一般会計歳出予算額の性質別経費内訳



義務的経費とは支出が義務付けられたもので、毎年度必ず支払わなければならない経費、**投資的経費**とは道路や公園、小中学校や保育所などの整備費や大規模改修費、自然災害による施設の復旧など社会資本の整備に関する経費のことをいいます。

義務的経費	小計	135億1,725万7千円	48%
	扶助費	56億6,947万9千円	20%
	人件費	46億 94万8千円	16%
	公債費	32億4,683万0千円	12%
投資的経費	小計	15億7,486万3千円	6%
	普通建設事業費	15億7,486万0千円	6%
	うち補助事業	1億3,269万8千円	—
	うち単独事業	14億4,216万2千円	—
	災害復旧費	3千円	—
その他の経費	小計	130億2,552万1千円	46%
	物件費	43億9,968万2千円	16%
	補助費等	43億4,833万2千円	15%
	繰出金	30億2,977万7千円	11%
	積立金	9億6,761万9千円	3%
	維持補修費	2億5,913万2千円	1%
	投資及び出資金	52万8千円	
	貸付金	45万1千円	0%
	予備費	2,000万0千円	

橋本市では、平成30年度から10年間のまちづくりの指針となる第2次橋本市長期総合計画を策定し、まちづくりの基本的な考え方となる基本理念のもと、3つの基本目標に沿った施策を推進しています。

基本目標 ▶ **ともに創る** 産業の振興と雇用を創出し定住できるまち

賑わいと活力を創出する地域産業づくり

雇用の創出と就労環境づくり

充実した情報整備と魅力的なまちづくり

基本目標 ▶ **ともに守る** 安全・安心な暮らしを守り支えるまち

安全・安心な暮らしと、生活の利便性を支える都市基盤づくり

豊かな自然と暮らしが調和する生活環境づくり

住み慣れた地域で安心して暮らせる持続可能な仕組みづくり

基本目標 ▶ **ともに育てる** 子どもから高齢者までともに育み学び合うまち

一人ひとりの個性が尊重され思いやりのあるまちづくり

妊娠・出産、子育てから教育まで切れ目のない支援とそれを支える地域づくり

生涯にわたる生きがいづくりと心の豊かさを高めるまちづくり

令和5年度からの第2次橋本市長期総合計画（後期基本計画）では、近年の社会情勢や本市の人口動向を踏まえ、長期総合計画の基本構想において掲げた将来の目標人口6万人の維持を達成することを目的として、重点プロジェクトを設定しました。

目標人口6万人の実現に向けた重点プロジェクト

まち全体で
子どもを育む

合計特殊出生率を改善するとともに、ファミリー層の転入促進を通じて出産を希望する人口を増やし、**出生数の改善を図る**ことで、人口の減少速度を緩やかにし、目標人口の達成を目指すものとします。

育

まちの魅力を
みがき伝える

ファミリー層からの橋本市に対する評価は、特に子育て支援において高くなっています。**ファミリー層のさらなる促進を図る**ことで、人口の減少速度を緩やかにし、目標人口の達成を目指すものとします。

魅

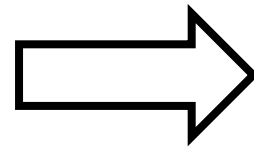
住み続けられる
まちをつくる

進学や就職を機とした市外転出は避けられないと予想されますが、市内の住みやすさ、働きやすさの向上を図り、**市外に流出する人口の減少速度を緩やかにする**ことで、目標人口の達成を目指すものとします。

住

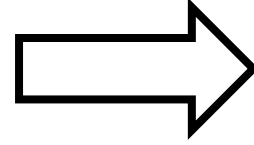
以下については、令和5年度当初予算における主な事業について、長期総合計画に掲げる重点事業との関連を示した。また、新規事業についても明記している。

「まち全体で子どもを育む」



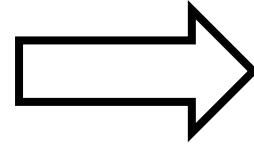
育

「まちの魅力をみがき伝える」



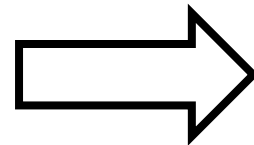
魅

「住み続けられるまちをつくる」



住

「新規事業」



新

予算額：9億3,780万5千円

財源内訳（円）

一般財源, 1千

国県支出金
3億7,297万

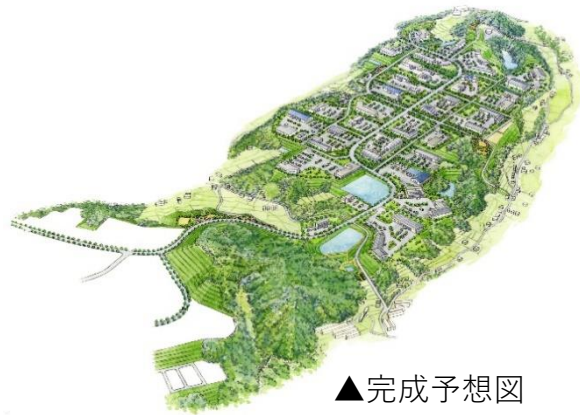
地方債,
1億4,480万

その他,
4億2,003万4千

その他は、基金繰入金や企業負担金など

南海電気鉄道株式会社・和歌山県・橋本市の3者共同で実施している「あやの台北部工業団地第一地区土地区画整理事業」について、昨年度に引き続き関連工事費などの予算を計上しています。

橋本市版SDGS



▲完成予想図

予算額：

8,000万円

財源内訳（円）

国県支出金, 4,000万

その他, 4,000万

その他は産業振興基金繰入金

橋本ふるさと便指定事業者が生産・販売する農産物や加工品を購入した消費者の皆さんが、橋本市内・市外のご家族やご友人に農産物等を発送する際の送料を橋本市が全額補助する予算を計上しています。

橋本市版SDGS



予算額：

250万8千円

財源内訳（円）

一般財源, 250万8千

LINEを活用したコミュニケーションツール導入により、市政情報等を種別分類し、市民が知りたい情報を有効に取得できるよう努めるとともに、各種イベントの申し込みや、アンケート調査など、市民と行政の双方向での情報交換を行います。

橋本市版SDGS



←
イ
メ
ジ

予算額：

1,790万円

財源内訳（円）

国県支出金, 1,193万3千

一般財源, 596万7千

新婚世帯の新生活のスタートアップ支援であり、新規に婚姻した世帯に対する住宅取得費用、または賃貸費用、引越し費用を支援します。また、県との連携により結婚・子育てに関する意識調査および男性の育休取得と家事・育児参画促進を行う予定としています。

橋本市版SDGS



←
イ
メ
ジ



予算額： 500万円

財源内訳 (円)

地方債 500 万

老朽化した防災行政無線システムの再整備を進めることとし、令和5年度においては、再整備に係る実施設計を行い、令和6年度において戸別受信機の配布などを予定しています。

橋本市版SDGS



← 戸別受信機イメージ

予算額： 1億6,525万円

財源内訳 (円)

国県支出金2,212万5千

地方債, 7,480万

一般財源, 6,832万5千

道路施設等長寿命化事業として道路等の効率的かつ効果的な予防修繕工事や、軽微な損傷箇所の緊急・応急的な修繕を行うことで安全性の確保及び施設の長寿命化を図るための予算を計上しています。

橋本市版SDGS



▲イメージ

予算額： 21億7,547万円

財源内訳 (円)

一般財源, 5億4,386万8千

国県支出金, 16億3,160万2千

障害者総合支援法等に基づく介護給付費、訓練等給付費など国からの補助金を活用し、幅広い支援を行うための経費を計上しています。

橋本市版SDGS



← イメージ

予算額： 43万円

財源内訳 (円)

一般財源, 43万

がん患者が自分らしく生きることができる環境づくりを支援するため、治療に起因する外見の変化を補完する医療用ウィッグや人工乳房等の補整具を購入した場合および小児・AYA世代がん患者が妊孕性温存療法後に妊娠を希望する際、凍結保存した検体を用いた生殖補助医療を行った場合にその費用に対する助成金の予算を計上しています。

橋本市版SDGS



← イメージ

予算額： 1億303万9千円

財源内訳（円）

その他, 4,536万3千

一般財源, 5,767万6千

子どもの健康の保持及び増進に寄与するため、小学校就学から18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある「子ども」の医療費について助成を行うための予算を計上しました。なお、中学校修了後の医療費の助成については、令和4年10月から新設しています。

橋本市版SDGS

3 すべての人に健康と福祉を



▲イメージ

予算額： 47万6千円

財源内訳（円）

一般財源, 47万6千

家庭教育支援チーム「ヘスティア」の発案により、ブックスタート事業に加え、令和5年度より新たに、セカンドブック事業を開始するための予算を計上しました。セカンドブック事業とは、1歳8か月児検診時の待ち時間を利用して、絵本の読み聞かせとプレゼントを行う事業で読書活動の推進を目的としています。

橋本市版SDGS

4 質の高い教育をみんなに



▲イメージ画像

予算額： 6,248万6千円

財源内訳 (円)

一般財源, 558万6千

地方債, 5,690万

子育て環境の整備のため、公立園の保育理念と教育・保育指針を継承する(仮称)紀見こども園を整備するための予算を計上しました。なお、令和5年度は、新築設計及び旧柱本幼稚園の解体を行うとともに、新しい園の駐車場整備に係る造成等を行い、令和6年度において新築及び駐車場整備工事を実施します。開園予定は令和7年度。

橋本市版SDGS



▲解体予定の柱本幼稚園

予算額： 3,476万円

財源内訳 (円)

国県支出金, 1,738万

一般財源, 1,738万

今後、電子教科書やプログラミング教育を進めていくうえで、職員のレベルアップやデジタルコンテンツを活用しアニメーションの表示や直接画像に書き込む等の視覚に訴えた授業展開により生徒の関心を高めて生徒自身が意見を発信する機会を増やす必要がある。それに加えて多様な考えに触れられる機会を与え授業の学習効率向上を図るため、市内小中学校の普通教室及び特別教室(一部)に電子黒板を配置する予算を計上しています。

橋本市版SDGS



←電子黒板

予算額： 8億8,186万3千円

財源内訳 (円)

一般財源, 9,976万3千

地方債, 7億8,210万

老朽化した紀見地区公民館、郷土資料館及びあさもよし歴史館を移転統合し、旧紀見小学校跡地に新築整備することで、地域の公民館活動をより充実させるとともに、文化財及び歴史資料を一体的に保存管理・活用します。

令和3～8年度の事業であり、令和5年度では主に施設の建築工事を行うための予算を計上しています。

橋本市版SDGS



▲完成イメージ

予算額： 3,010万円

財源内訳 (円)

一般財源, 239万5千

地方債, 2,030万

その他は岡潔顕彰基金繰入金

その他, 740万5千

本市の名誉市民である岡博士の偉業を後世に伝えるとともに、子どもたちに算数・数学の意義や楽しさを伝え、興味を喚起する施設である、(仮称)岡潔数学体験館の設置に係る予算を計上しています。施設は岡博士ゆかりの地に所在する柱本小学校内に設置します。

令和6年度開館 (予定)

橋本市版SDGS



← 岡潔博士